

博多家ふるさと版

春号



昭和18年ごろの高砂連の曳き台

「1年だけ自分にやらせてください」と高齢メンバーを氣遣って訪問先を組み直したりしました」と話しました。また、「口三味線じゃつまらんば」と、地

5月3、4日は、博多どんたく港まつり(どんたく)。まつりの源流とされる博多松囃子の三福神や稚児に続く「とりもん」が福博の町をにぎやかにします。今年で創立130周年を迎える博多高砂連(高砂連)は伝統の「とりもん」を継承、どんたくに参加する最古参団体の一つです。毎年、翁媪(おきなおきな)の人形の曳き台を引き、三味線・太鼓の「どんたく囃し」で家々や商店、企業などを表敬訪問。福岡市役所や博多区役所の演舞台やパレードにも参加し盛り上げています。

高砂連発行の「博多高砂會の八十余年」によれば、明治26(1893)年に老人クラブの草分け的な団体として発足。戦前までは会員1000人を超えましたが、昭和30年代に入ると博多のドーナツ化現象などで会員が減少。地域社会への参加も難しくなったそうです。40代で入会した現会長の加藤和雄さん(75)は「どんたくをてつどいて(手伝って)」と誘われました。参加してみると、手厚い接待を受けながらも遠距離に及ぶ、とりもんの表敬訪問は負担も大き

伝統の「とりもん」をつなぐ 創立130周年の高砂連



「博多町家」ふるさと館を表敬訪問する高砂連(2017年)

域おこしをしようと集まった、はかた部ランド協議会のメンバーも誘い、三味線の猛練習をし、全員が弾けるようになったそうです。加藤さんは、「自分たちだけが満足するのではなく、次の世代に伝えていくことを大切にしたい」とも言います。

高砂連は、聖福寺境内の高砂會館に月2回集まり親睦を深め、どんたく以外にも8月お盆の博多の先祖供養の「大施餓鬼」など昔ながらの行事を継承しています。現在、会員募集中です。

問い合わせは

博多高砂連 k10k20@hotmail.com



色紙(小) 西島伊三雄画 880円(税込)



色紙 西島伊三雄画 1,980円(税込)



五月晴れ進作 5,500円(税込)



武將出陣 源慶作 11,000円(税込)

五月人形

博多町家ふるさと館 みやげ処

その他みやげ処商品はHPからもご覧いただけます。 ネット販売: <https://www.hakata-machiya.com/store/>

令和5年 イベントスケジュール

4月 5月 6月

3/1(水) 4/3(月) 季節展 ひなまつり
桃の節句のひなまつり。博多のご家庭で毎年飾られてきたひな人形を展示します。かわいらしいおひなさまが、皆様のお越しをお待ちしております。

能楽マルシェ(全6回) 参加者募集中!
能楽教室を開催します。福岡市能楽協議会主催で能楽で遊びましょう!というものです。毎回、能楽ミニコーナーと能楽講座の組み合わせで、能楽初心者も能楽通にも楽しむことができます。
●4/1(土) 能写経と講座「能について」講師:鷹尾維教
●5/6(土) 能折り紙と講座「狂言について」講師:野村方祿
●6/3(土) 能めり絵と講座「謡・型について」講師:今村一夫
●7/1(土) 能写経と講座「お囃子について」講師:白坂保行
●8/5(土) 能めり絵と講座「高砂を謡おう」講師:鷹尾維教・章弘
●9/2(土) 能折り紙と講座「4月~8月全講座のまとめ」
※要申し込み【福岡市能楽協議会 TEL:092-711-8048 FAX:092-736-7081 Mail:nohgaku.fukuoka@gmail.com】
時間:10時~12時まで
会場:町家様および会議室
参加費:1回2,500円
定員:15名

第26回博多町家思い出図画展
今では見ることができなくなった風景や、昔の暮らし、子供の遊びなどが描かれたユニークな作品が、なつかしい思い出と共に集まりました。福岡市長賞、博多町家ふるさと館長賞、福岡市美術館賞、福岡アジア美術館賞などをはじめ、応募作品を展示いたします。

博多町家古文書講座(全20回) 参加者募集中!
当館人気講座「古文書はじめて講座」の新シリーズ「博多町家古文書講座」は、内容をレベルアップして開催します。1冊の古文書に取り組み、読み込みます! ※「石城志」等を予定しています。
講師:天本孝久氏
時間:14時~16時 会場:当館会議室 料金:12,000円(半期10回分) 定員:15名
※要申し込み:お名前、住所、電話番号をご連絡ください。電話、メール、FAXにて受付。
(4月1日~4月15日まで受付。抽選後当選者のみ4月20日までに電話かメールでご連絡いたします)

博多どんたく港まつり演舞台設置
重要無形民俗文化財に指定された「博多松囃子」が表敬に訪れます。(3日は稚児、4日は三福神、両日8時45分頃)。10時から17時は町家様がどんたく演舞台になります。

「博多町家ふるさと館どんたく隊」 参加者募集中!
当日踊りの練習をして博多どんたくパレードに参加します!
5月4日のパレードにご一緒に参加しませんか?お一人様でも、グループでも皆さんでお祝いしましょう。
●法被購入プラン 3,700円(法被、入館料、パレード参加、しゃもじ付き)
●法被レンタルプラン 2,700円(法被レンタル、入館料、パレード参加、しゃもじ付き)
●リピータープラン 1,500円(入館料、パレード参加、しゃもじ、予約券付)
●子供法被レンタルプラン 500円(法被レンタル、パレード参加、しゃもじ付き) ※数に限りがあります
※中学生以下は保護者同伴で無料(しゃもじ付き)
定員:100名 申し込み方法:参加者、住所、メールアドレスまたはFAX番号、プラン内容をふるさと館までご連絡ください。

福岡ミュージアムウィーク2023
福岡ミュージアム2023に参加しています。

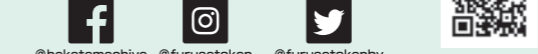
博多祇園山笠展
博多祇園山笠の企画展を行います。
※感染状況を鑑みて変更となる場合がございます。詳しくはHPをご覧ください。

- アクセス**
- 空港から
◆地下鉄【空港線】祇園駅下車、徒歩5分
◆タクシーで15分
 - JR博多駅から
◆徒歩15分
◆タクシーで5分
 - 天神から
◆地下鉄【七隈線】柳田神社前駅下車、徒歩4分
◆地下鉄【空港線】祇園駅下車、徒歩5分
◆地下鉄【七隈線】柳田神社前駅下車、徒歩4分
◆地下鉄【空港線】祇園駅下車、徒歩5分
◆西鉄バス(博多駅行き) 祇園バス停下、徒歩4分
◆西鉄バス(博多駅行き) キャナルシティ博多前下車、徒歩3分
◆福岡都市高速環状線【呉服町ランプ】を出て1.5km、もしくは「千代ランプ」を出て約1.2km
- ※専用駐車場がございますので、お近くのコインパーキングもしくは公共交通機関をご利用ください

〒812-0039 福岡市博多区冷泉町6-10(柳田神社 正門鳥居前)
TEL:092-281-7761 FAX:092-281-7762
E-mail: furusatokan@hakatamachiya.com
開館時間:午前10時~午後6時(入館は午後5時30分まで)

休館日:第4月曜日
(祝休日の時は翌平日 ※みやげ処は営業)
年末(12月29日~31日)
入館料:展示棟のみ 一般/200円(20人以上は150円)
中学生以下/無料 ※65歳以上(福岡市・北九州市・熊本県市・鹿児島市内居住者)、または身障がいの方は無料です。
(証明できるものをお持ちください)

ホームページ: <https://hakatamachiya.com>



その他通常イベント

◆伝統工芸の実演 10:00~12:00
14:00~16:00

- 月 博多人形
- 火 博多張子
- 水 博多独楽
- 木 博多曲物
- 金 博多人形
- 土 博多人形
- 日 博多人形

◆オンライン絵付け体験「つくらんね博多」

◆博多織実演 11:00~13:00
15:00~17:00

◆博多まち歩き 無料定時ツアー 14:00~

◆町家でのイベント 13:00~

- 第1土曜・第3日曜 博多にわか公演
- 第1水曜 筑前琵琶公開稽古
- 第2・第4水曜 博多町家文化連盟公開稽古

その他さまざまなイベントを実施しております。
※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止になる場合がございます。
詳しくはホームページをご覧ください。

Instagram随時更新中

「博多町家」ふるさと館の公式Instagramです。フォローよろしくお願いたします。



4月24日(月)、5月22日(月)、6月26日(月)
みやげ処は営業

展示棟・町家様...
午前10時~午後6時
※展示棟入館は開館時間の30分前まで
みやげ処...
午前10時~午後6時

博多文化 継承人

人数制限なし、「言い立て」も復活

博多松離子振興会榎崎会長 西村本部委員



「感染対策もしっかり行いながら臨みます」と話す博多松離子振興会の榎崎会長(右)と西村本部委員

「今年のどんたくでの規模はここ2年、コロナ禍で半分にしてきた参加人数を今年には制限を設けず、従来の500〜600人になる予定です。子供も10人の小中学生に限定していましたが、これも撤廃し、幼児の参加も認めます。録音したものを流していた「言い立て」(離子謡)も子供たちの声を復活させます。感染対策として、今年までは大人はマスク着用、健康管理シートの提出は続け、訪問先での「振る舞い」も辞退します。100%元に戻したいとの思いは強いのですが(新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが)5類への移行前でもあるし、7月の博多祇園山笠につながるためにも感染症対策はしっかりと行います。

「訪問先数はどれくらいですか」
コロナ禍でも訪問件数はほとんど変わりませんでした。今年も三福神が約160カ所、児が約60カ所を表敬します。数年前から傘鉾にGPSを付けたのでスマホで三福神の所在が分かるようになりました。

「3年前に国重要無形民俗文化財となりました。指定で何か変わりましたか」
博多祇園山笠と並び、一つの神社の奉納行事が2つも国の重文になったのは榎田神社だけだそうで、博多の誇りです。今回指定されたことで、伝承のための支援事業ということで、山車や用具の新調・補修が受けられるようになりました。福神流、恵比須流、大黒流とも傘鉾、傘鉾台を新調したほか、福神流は御神様面と鉦、締太鼓、大黒流は締太鼓と傘鉾の上の飾りをそれぞれ補修、恵比須流は衣装を



「博多町家」ふるさと館前で「祝うたあ」と祝賀する福神流(昨年5月4日)

新調し、児流は曳台を修理しました。中には修理の前提で九州国立博物館でX線スキャナーによる解析で材質が分かったものもあり補修を通じて、我々も改めて学び、今以上に大事に扱わなければならぬと思うようになりました。これまでプラスチックケースに入れていたものも桐箱に替え、湿気を避けて錆が出ないように保管するようになりました。今からではもう作れないものもあり、古きものの良さを再認識しています。

ふらりと館ニコース 旧知の仲のような 一体感が...

博多どんたくのパレードに今年もふるさと館どんたく隊が繰り出します。一般市民や観光客でつくる唯一の団体として5月4日のパレードに出場します。当日は、まず榎田神社拜殿で安全祈願のお祓い。外からの参拝とまた違った趣があり、荘厳な気分になります。この後、踊りの練習でお祭り気分も徐々に盛り上がりです。皆さん、初めて会った人ばかりなのに本番では旧知の仲のように一体感が生まれ、昨年は「どんたく隊賞 人気コンクール」で福岡市議会議長賞を受賞しました。あなたも参加してみませんか(4面に募集要項)。



博多町家 古文書講座がはじまります!



「博多町家古文書はじめて講座」は平成28(2016)年4月から6シリーズを重ねてまいりました。くずし字? 読めるわけない、とあきらめるのではなく、親しんでみませんか、という試みでした。古文書指導は黒田家文書を読む会の天本孝久先生。長谷川法世館長の博多雑学も加わり講義はいつも楽しく和やかなムードのうちにすめられました。受講生の方々からは各シリーズを終了するたびに、再開のご要望をいた

だいておりました。(毎回定員を超える申込みをいただき、抽選の結果、受講できなかった皆様、申し訳ありません) そこでこのたび、新たに「博多町家古文書講座」として全20回(4月27日初回・第2・4木曜日14時〜16時)を始めます。くずし字に親しんでみる「はじめて講座」からバージョンアップ、古文書を読むことに重きを置きます。古文書を読むという事は、そう簡単ではないのですが、実力アップを目指す「博多町家古文書講座」にしたいと思っております。指導は、引き続き天本孝久先生です。津田元順・元貫編『石城志』を読み込む予定にしており、先生は未発掘の古文書を受講生の皆さんと読み上げてみたいとおっしゃっています。

また、長谷川法世館長は、「博多三昧町家塾」を開講する準備をしています。博多



昨年の古文書はじめて講座にて、冷泉公民館

の郷土史、雑学を当館や各所の講演会で語り、エッセーも書く法世さん、このたび博多を深掘りし堪能する講座をスタートします。コアでマニアックな博多の話題が期待されます。みなさんと一緒に、さらに博多学を深める意気込みです。こちらは、8月開講予定、詳細は決まり次第かわら版等でお知らせします。

Come one! Come all! 能楽マルシエへどうぞ

福岡市能楽協議会による催し、月イチ能楽教室が、当館町家棟およびミーティングルームではじまります。能楽師と一緒に楽しく能楽であそぼう! というコンセプトのもと、能楽にグッと親しんでいたいただくために練り上げられた企画です。各回、能楽師による講座に加えて能楽ミニコーナーが組み合わされています。

4月1日(土)初回から9月まで毎月第1土曜日の計6回。午前10時にスタートし、まずは50分間のミニコーナー能写経、能折り紙、能ぬり絵などのメニューでウォーミングアップ。11時から約1時間の能楽講座。講師は鷹尾維教氏、野村万緑氏、今村一夫氏、白坂保行氏、鷹尾章弘氏等、いずれも福岡、博多を中心に大活躍の能楽師です。毎回の詳細はチラシ等でご確認ください。能楽は、日本が世界に誇る伝統文化であると理解はしていても、初心者には敷居が高く、堅苦しいと決めつけていませんか。この能楽マルシエは能楽初心者にも能楽通にも魅力いっぱい内容です。ぜひこのチャンスにグイグイ能の世界に迫っていただきたいです。

